

Japan Community
Healthcare Organization

YAMANASHI HOSPITAL

JCHO山梨病院 病院案内



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO 山梨病院

理念と基本方針

地域の皆様が安心してかかれる病院

- 誠意と情熱をつくして医療を行うよう努めます
- 病める人の気持ちになって医療を行うよう努めます
- 公平な医療を行うよう努めます
- いつでも必要に応じて的確な医療を行えるよう努めます
- 病める人の心と人格と権利を尊重します
- 個人の情報を適切に取り扱い、プライバシーの配慮に努めます

ご挨拶

院長

石原 司

Tsukasa Ishihara

循環器内科



看護部長

平川 洋子

Yoko Hirakawa

看護部



当院は、独立行政法人・地域医療機能推進機構（Japan Community Healthcare Organization：略称JCHO）の一員として、地域医療・地域包括ケアの要として、地域の皆様に貢献すべく取り組んでおります。

「地域の皆様が安心してかかれる病院」を基本理念として、

- ①各診療科、消化器病センター、乳腺センターによる急性期医療、二次救急医療、地域を守るための高齢者救急医療
- ②健康管理センターでの健康診断、人間ドックを通じての早期発見・早期治療、「早く病気を見つけて早く治す」、病気にかからないための予防活動
- ③地域包括ケア病棟での在宅へ向けた療養支援、「治す」だけの医療ではなく「治し支える」医療に、地域の医療機関とも連携した「地域全体で支える」医療への推進

以上の3つを柱として診療を行っております。

予防から急性期、更には、回復期から介護療養支援と、シームレスな医療が提供できる体制を整えてきております。質の高い医療を親身に提供するとともに、地域住民の皆様が安心して暮らせるように、地域の医療ニーズに応えるべく、病院職員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

どうぞ、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

このたび、看護部長として着任いたしました。平川洋子と申します。地域の皆さまをはじめ、関係機関の皆さまに心よりご挨拶申し上げます。

当院は地域医療を支える中核病院として、急性期から回復期、在宅支援まで切れ目のない医療の提供に努めています。その中で看護は、患者さまの最も身近な存在として、治療を支えるだけでなく、その人らしい生活や人生に寄り添う重要な役割を担っています。

私は看護管理者として、「人を大切にする組織づくり」に取り組んでおります。安全で質の高い看護は、職員一人ひとりが尊重され、互いに認め合い、安心して力を発揮できる環境から生まれると考えています。対話を大切にしながら、学び合い支え合える組織づくりを進めて参ります。

また、地域の高齢化や医療ニーズの変化が進む中、病院だけで完結する医療ではなく、多職種や地域との連携がますます重要になっています。看護部としても、専門職としての責任を果たしながら、地域の皆さまに信頼される存在であり続けたいと考えております。

これからも「この病院に来てよかった」と感じていただけるよう、看護部一同、誠実に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



診療科目

●：午前・午後 診療 AM：午前診療のみ PM：午後診療のみ

消化器内科

月 火 水 木 金
AM PM ● ● AM

- 消化器がんの早期発見、診断、治療を目指しています。
- 消化管出血や胆管炎などの消化器救急疾患に迅速に対応します。

循環器内科

※第1・3火曜日のみ 月 火 水 木 金
午後の診療あり AM AM※ AM AM AM

- 心筋虚血や不整脈、心不全の検査を行っています。動悸や息切れが気になる方は、受診をしてください。

乳腺外科

月 火 水 木 金
PM ● PM ● ●

- 早期受診、迅速な検査と診断。
- 乳腺外科医3名で診察し、早期受診の受諾、早期検査、診断を行っています。丁寧な説明を心掛けています。

整形外科

※第2・4木曜日午後 月 火 水 木 金
骨粗鬆症外来 AM AM AM AM※ AM

- 整形外科は診療領域が広いので、骨折や膝肩関節疾患、骨粗鬆症などの専門性をもった医師が診療しています。

脳神経内科

月 火 水 木 金
PM — PM — —

- 必要に応じて山梨大学医学部附属病院神経内科と連携しております。
- 地域の窓口として貢献できるように努力したいと考えています。

麻酔科

- 山梨大学医学部附属病院麻酔科と連携して、患者様が安全・快適に手術が受けられるような麻酔を心がけています。

消化器・一般外科

月 火 水 木 金
— AM ● AM AM

- 外科では鼠径ヘルニアや消化器の手術を中心に、いつでも安心して受診していただけるよう心がけております。

呼吸器内科

月 火 水 木 金
AM — PM AM AM

- 身近な呼吸の症状から難治性の呼吸器疾患まで、常勤医1名、非常勤医2名体制で外来診療しています。

婦人科

月 火 水 木 金
● ● ● AM ●

- 思春期、更年期またどの年代の婦人科的な悩みに丁寧に対応し、診療治療しています。

リハビリテーション

- 様々な疾患に対応しております。患者様が満足できる良質なリハビリテーションを提供し、地域医療に貢献できることを目指しております。

耳鼻咽喉科

※火曜日14:00~16:00 月 火 水 木 金
AM PM※ — AM —

- 週3回外来診療を行っています。

病理診断科

- 病理医が常勤しています

放射線科

- 安全、有益な検査実施（CT、MRI、核医学等）および丁寧、迅速な結果報告を心がけています。

高度医療機器の共同利用について

- CT、MRI、RI、骨塩定量の検査機器（検査のみ）が利用できます。
- お電話での予約後、紹介状のFAXをお願いします。

放射線科

☎055-252-8831

FAX 055-252-8832 (直通)

受付時間 / 平日 8:30~16:00

内線

CT 7212

MRI 7211

RI 7230

受付時間 午前 8:00~11:30 午後 1:00~3:00 (要予約)

休診日 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)

※診療科によって診察日と受付時間が異なりますので、予め電話でお問い合わせください。

紹介状をお持ちの方は、予約を取ることができます。

専門外来

脾のう胞外来

脂肪肝・肝機能障害外来

ピロリ菌・萎縮性胃炎外来

大腸ポリープ・便潜血外来

膠原病外来

骨粗鬆症外来

外来診療担当表



最新の担当表はこちらからご覧いただけます

診療・各部門



診療・各部門はこちらからご覧いただけます

救急患者について(二次救急)

- 救急患者と判断された場合は「外来看護師」へご連絡ください。(時間外、休日は事務員が電話対応します)

外来

☎055-252-8831

24時間受付

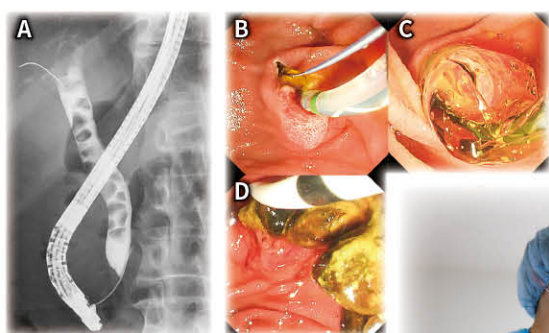


私たちが目指すのは、健診から



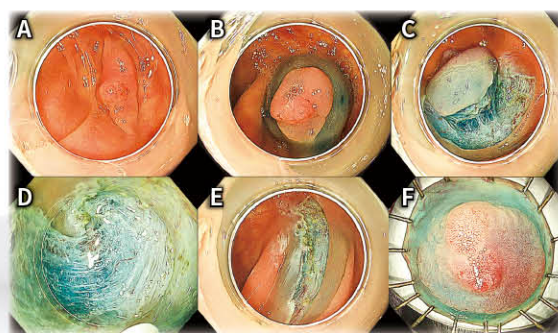
山梨病院の高

消化器内科



ERCP 内視鏡的胆管結石除去術 (Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography)

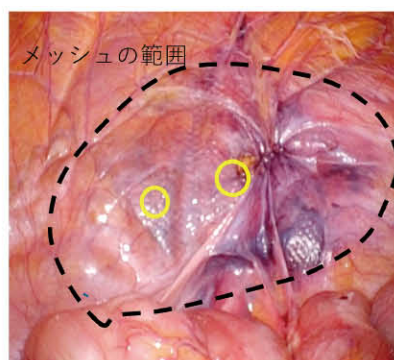
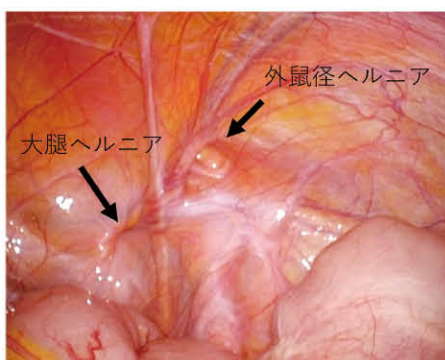
- A. 治療前、総胆管内に多数の結石を認める
- B. 内視鏡的乳頭切開術 (EST)
- C. ラージバルーン (14mm) による乳頭拡張術
- D. バスケットカテーテルによる結石除去



ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic Submucosal Dissection)

- A. 早期大腸癌全体像
- B. 粘膜下層にヒアルロン酸を注入
- C. 大腸がんを剥離している写真
- D. 大腸癌を切除完了する直前
- E. 切除後の内視鏡像
- F. 切除した大腸癌を板に張り付けて固定した写真

消化器外科



TAPP 腹腔鏡下ヘルニア修復術 (Transabdominal Pre-Peritoneal Repair)

腹腔鏡下手術の利点としては

左右同時に手術ができること

従来の方法では両側にそけいヘルニアがある場合には右と左にそれぞれ約5cm程度の創をつけることになりますが、腹腔鏡手術ではごく小さな傷で同時に手術ができます。

十分に観察ができること

1ヶ所だけ膨らみを自覚されている場合でも、実は複数ヘルニアができています (左だけでなく右にもできています、外鼠径ヘルニアだけでなく大腿ヘルニアもできています、など)。腹腔鏡手術は、そけい部の皮膚を切開するやり方よりも広い範囲を観察することができるので、患者さんが自覚されていなかった小さなヘルニアもみつけて同時に治療することができます。

補強がさらに丈夫にできること

筋肉の層よりも内側 (腹膜側) にメッシュを固定します。これは筋肉の外側にメッシュを固定するよりもさらに腹圧に対して丈夫な補強となるとされています。また、鼠径部を切開する方法よりも広い範囲を覆うメッシュを使うことでより丈夫に補強ができます。

特殊なタイプのヘルニアが治療できること

閉鎖孔ヘルニア、膀胱上窩ヘルニアなど極めて稀なヘルニアも経験しています。腹腔鏡にて治療が可能です。

※前立腺全摘後、子宮卵巣全摘後、大きな癒着を伴う手術後、全身状態が悪く全身麻酔が不可能な場合など、腹腔鏡下手術が適さない場合は鼠径部切開法を局所麻酔で行います。

早期発見・早期治療です

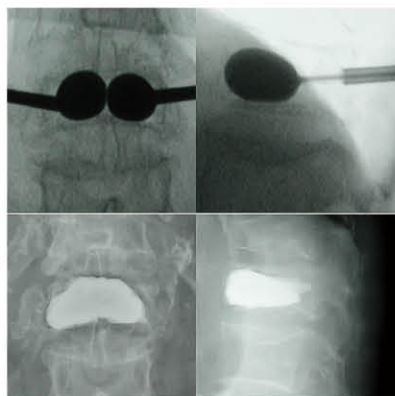


高度な医療技術

整形外科

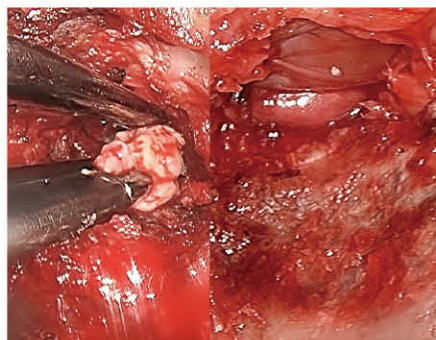
MIST 最小侵襲脊椎治療 (Minimally Invasive Spine Treatment)

出来るだけ身体へのダメージを減らした脊椎治療。手術では内視鏡や顕微鏡、そしてX線を用いて、わずか1~2cmの切開から神経の圧迫を取り除き、筋肉や靭帯を出来るだけ温存して行うため、出血量や痛みが少なく入院期間も短縮できる。体への負担を考慮しながら、安全性と確実性を両立できるコストパフォーマンスに優れた治療法。



BKP 経皮的椎体形成術 (Balloon Kyphoplasty)

骨粗鬆症性椎体骨折いわゆる圧迫骨折に対して、短時間で行う最小侵襲手術。術後早期に痛みが緩和され離床が可能となり、さらには後弯変形(猫背)の予防ともなる画期的な治療法。同時に骨粗鬆症の治療も行っています。



MED 内視鏡下椎間板摘出術 (Microendoscopic Discectomy)

MEL 内視鏡下腰椎椎弓切除術 (Microendoscopic Laminectomy)

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症に対して行っている低侵襲手術。県内で唯一脊椎内視鏡ライセンスを所持しており、約1週間の短期入院で行っています。



FLSチーム

当院では大腿骨近位部骨折の患者に対し、早期に手術やリハビリテーション、骨粗鬆症の治療に取り組み、指導を提供するFLSチーム(骨粗鬆症リエゾンチーム)を、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、栄養士、社会福祉士、事務員で形成し二次骨折予防に積極的に取り組んでいます。外来でも相談に応じておりますので、二次骨折リスクを感じられている方や骨粗鬆症治療を希望される方などもご相談ください。

女性外来フロア



婦人科

当院では婦人科常勤は女性医師で女性外来フロアもあり、少しでもご安心なさせて頂いていただけるよう丁寧な診察とご説明を心がけております。



乳腺外科

乳腺疾患のスクリーニングからあらゆる精密検査による診断、手術や外来抗がん剤などの治療、および経過観察を行う専門外来です。

急性期から地域包括ケアまで あたたかいサポートを目指しています

急性期病棟

- 多職種で連携を図りながら、患者様の治療をサポートしております。



地域包括ケア病棟

- 在宅に向けて退院の準備が必要な方、レスパイト入院もお受けしております。
- 病院、在宅、施設からの入院を速やかに受け入れています。ぜひ、ご利用ください。



認定看護師

がん薬物療法看護

薬物療法による副作用対策、医療費などの社会的支援、精神的ケアなど、患者様・ご家族様の相談や支援を一緒に行います。

認知症看護

認知症患者様や高齢患者様が安心・安全に日常生活を送れるよう患者様やご家族様の困りごとのご相談に対応させていただきます。物忘れや理解力の低下、徘徊等ありましたらご相談ください。

感染管理

日常の感染対策や感染対策上での不安や疑問を一緒に考え対応致します。限られた資源の中での実現可能な感染対策を考えます。

糖尿病看護

糖尿病や合併症（網膜症・神経障害・腎臓病）、足の事、食事や運動、薬や注射など、心配事はご相談ください。医療スタッフと共に皆様の困りごとに対応します。

摂食嚥下障害看護

摂食・嚥下機能評価・食事形態や姿勢の調整、家族・在宅職員への指導もご相談ください。多職種と連携し誤嚥予防とQOL向上を支援します。

訪問診療

- 通院が困難になったかかりつけ患者様を対象に自宅への訪問診療を行います。ご希望の方は地域医療連携室にご相談ください。



立行政法人
医療機能推進機構 山梨病院

健康管理センター

- 人間ドック、生活習慣病健診、定期健診、特殊健診など、幅広く対応しております。
- 乳がん検診、婦人科検診は、女性外来フロアを設け、プライバシーが守られます。



地域連携の取り組み



糖尿病教室



地域連携研修会



えびす講祭り

新しい医療スタッフを育てています



当院は、
臨床研修医の指定医療機関に
なっています。

お気軽にお問い合わせください

看護
臨床実習

多職種
実習指導



山梨病院の概要

規 模	地下1階地上6階 (免震構造／平成25年5月1日開院)	病 床 数	168床
	敷地面積 6,106㎡	看護基準	急性期一般入院基本料 2
	建築面積 3,058㎡		地域包括ケア病棟入院料 2
	延床面積 12,912㎡		

沿革

昭和22年3月29日、厚生省（現 厚生労働省）が主体となり組合立慈光病院を買収。その経営を財団法人山梨社会保険協会が受託し、同年5月より社会保険山梨病院として診療を開始、昭和33年9月1日、社団法人全国社会保険協会連合会に経営が委託される。

その後、平成20年10月より土地と建物が独立行政法人年金・健康保険福祉施設整機構（RFO）に出資され、平成26年4月よりRFOを改組した独立行政法人地域医療機能推進機構の病院として現在に至る。

指定・契約 | 届出受理事項

詳しくは当院ホームページをご覧ください→

[トップページ](#)／[病院紹介](#)／[基本情報](#)／[病院紹介](#)



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO 山梨病院

〒400-0025 山梨県甲府市朝日3-11-16
TEL:055-252-8831 FAX:055-253-4735
URL:<https://yamanashi.jcho.go.jp/>



甲府駅北口から
距離800m、徒歩10分、車で3分

マップの詳細はこちらから →

